



〒892-0841
鹿児島市照国町13-42
カトリック鹿児島教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間〒共1100円



司教の手紙

救い主の到来に備える

鹿児島教区司教 中野 裕 明

教区のみなさまお元気でしょうか？

今回はクリスマスを迎える準備として、洗礼者ヨハネのメッセージをここに留めたいと思います。

彼は先駆者ヨハネとも言われています。「先駆者」とは、イエスの前を行く人、イエスの誕生を準備する人のことです。では、イエスの誕生を準備した人は彼だけだったでしょうか？

マタイ福音書の冒頭には、イエス・キリストの系図が記されています。系図はイエスの出自を示したもので、その最初の人物はアブラハムになっています。ところで、イエスの系図といえは、ルカ福音書にもあります。（ルカ3・23）そ

ここでは、イエスから出発して最終は、「アダム、そして神に至る」（ルカ3・23）とあります。

この二つの系図の表記の仕方の違いは、マタイの方は旧約聖書を熟知している離散したユダヤ人向けであり、ルカの方は、ユダヤ人の歴史を知らない、ギリシヤ語を話す人々に向けて編纂されたからだと言えます。いずれにせよ、これらの系図の意図するところは、イエスが、人間の歴史に深くかかわっているというのと、その誕生は、ある日突然、無計画に天から降ってきたのではないというにありま

換言すれば、人間の歴史の中に神が介入してきたと主張していると考えられるし、さらに、人類が、このイエスの出自にもっと注目してほしいという願望もうかがえます。つまり「イエスは、どこから来たのか？」そして「誰であるのか？」との問いかけです。さて、先駆者ヨハネの話に戻りましょう。彼は、イエスを迎えるためには律法に立ち返り、改心することが必要であると説きます。教会は、クリスマス前に待降節を設けて改心と犠牲を

信者に求めるのは、先駆者ヨハネのメッセージに忠実であろうとするからです。彼のメッセージの核心は、律法に忠実であることです。そして、律法の核をなすものは「神の十戒」です。「十戒」は「掟」とぶつ訳されますが、原語では、デカローグ、つまりデカ（十）ローグ（ことば）という意味です。神はイスラエルの民に向かって話された、十箇条の言葉という意味です。旧約聖書の中で、「十戒」は出エジプト記20章、申命記5章に収録されていますので読みみてください。神様の心が伝わってきます。

私たちはみな、子供のころ親、先生、大人たちからいろんな事柄を諭されて育ってきたと思います。今の子供たちもそうあるべきだと思います。

「十戒」の4番目に「父母を敬え」というのがあります。1・3戒は神に対する人間の務めですが、道徳的務めの5・10戒の間はこの4戒があります。これは、人間の神への務めと人間の務めの橋渡しというか、ちようつがいのような立場のような気がします。つまり、「父母を敬え」という務めは、神側からすると、「父母は神の代理者だから、子供は父母を敬うべきである」とし、子供の側からすると「父母を通して、神を敬うことを教わることができ」という風になります。よいクリスマスを迎えください。

「神の十戒」の各戒について家族間で話し合ってみるのも待降節の有意義な過ごし方の一つであると思います。よいクリスマスをお迎えください。

▼責任役員会
11月9日（月）午前、教区本部で責任役員会が開催され、2019年度教区会計決算、2020年度の予算が承認された。また教区の就業規則改訂とパートタイマー就業規則についても検討され、承認を受けた。

このほか会議では、「カトリック小宿祈りの家」の売却処理が終了したことについても報告があった。

▼司教評議会
責任役員会後同日午後から開かれた司教評議会では、来年1月開催の司教大会の実施方について話し合われたほか、来年度の行事予定等について準備を進めることを申し合わせた。また外国人司牧についての改善点も検討された。

▼丸野六雄神父（垂水教会主任司教）は、教区本部付。但し居住は以下の通り。鹿児島市照国町15-16 205
▼泉浩二神父（鴨池教会主任司教）は、垂水教会管理者を兼任
※着任はいずれも12月1日付

責任役員会と司教評議会

教区人事

シノドスニュース

▼奄美地区信仰部会
9月20日（日）午後、聖心教会にあるカトリックセナーで2度目の部会を開いた。出席者は4人。会では、小教区司教評議会のあり方、「聖書に親しむ」の実践、班集会のあり方について意見を出し合い、今後の小教区における活動を確

認した。
▼典礼部会
10月18日（日）午後、教区本部で部会を開いた。17人が出席。会では、新しく加わった会員の紹介があった後、これまでの活動を振り返った。その後、典礼についてのフリートリーキングを実施。またシノドス提言の具体化について熱心に意見を交わした。

12月6日は宣教地召命促進の日（献金）

キリストを知らない人に救いの福音を伝えることは、キリスト者一人ひとりに課せられた使命であり、神からの呼びかけにこたえること（召命）です。それゆえ、宣教地である日本において、すべての信徒がその使命を果たせるよう、また宣教に従事する司祭・修道者がよりいっそう増えるよう祈ることは、とても大切なことです。

この日、わたしたちは、世界中の宣教地における召命促進のために祈り、犠牲をささげます。当日の献金はローマ教皇庁に集められ、全世界の宣教地の司祭養成のための援助金として送られます。



真理を求めた福者に倣う

福者レオ七右衛門殉教祭

揺るがない信仰のゆえに、受洗後わずか4か月足らずで殉教した福者レオ税所七右衛門を称える殉教祭が11月15日（日）川内教会

で開かれた。毎年、北薩地区の信者を中心に200人余が駆けつける同殉教祭だが、今年はコロナウィルス蔓延を危惧し、地元川内教会の信者のみの参列での開催となった。

福者レオ七右衛門殉教の碑前でのセレモニーの後、午前10時30分から始められたミサで説教した中野裕明司教は、レオが生きた時代背景を解説した上で「福者レオはキリストと出会い、真理を発見した。真理とは罪からの自由のことで、この世では受け入れられな

協力をお願い

カリタス鹿児島

「弱い立場に置かれた人々を最優先にする」目的で1995年2月に設立された基金「カリタス鹿児島」。

設立のきっかけは、教区が管理することになった高齢者施設の窮状を救うためだった。数年後、同高齢者施設は

教区の手を離れることになるが、その後も教区ではクリスマス時期にカリタス鹿児島への献金をお願いし、教区にある児童養護施設を援助している。

教区では、このカリタス鹿児島への働きを見直し、今後は児童養護施設の援助にとどめず、災害や苦しんでいる人たちのためにも援助できるように基金を充実させたいとしている。

あなたの心を届けよう
カリタス鹿児島
郵便振替口座をご利用ください。
口座番号：02030-2-8359
加入者名：カトリック鹿児島教区
※通信欄に「カリタス鹿児島」と明記してください。

集められた献金は、カリタス鹿児島（担当：川口茂終身助祭）で援助先を検討し、役立ててもらうことになる。

経常支出・科目	2019年度予算額	2019年度決算額	備 考
①人件費	¥44,800,000	¥41,020,571	
給 料	35,000,000	31,340,590	司教・司祭(14人)、シスター3人、職員5人
法定福利費	5,500,000	4,566,765	社会保険料
福利厚生費	2,000,000	3,000,716	医療保険、医療費、葬儀費用
司祭年金	2,300,000	2,112,500	成相神父、田原神父
②維持管理費	¥5,200,000	¥3,604,180	
修繕費	2,000,000	1,329,820	施設修繕、パイプオルガン調律・点検
施設保守点検費	2,000,000	1,123,260	ビル管理(保守点検)、エレベーター保守
損害保険料	1,200,000	1,151,100	建物火災・損害(カテドラル・本部等など6カ所)
③事務運営費	¥10,930,000	¥7,153,894	
事務費	500,000	701,933	印刷機、印刷用紙、ダスキンの取替、給与ソフト
通信費	700,000	538,766	電話料、切手、葉書、発送代
旅費交通・接待費	630,000	439,593	公務出張旅費、来客接待(40,000円)
水道光熱費	4,000,000	2,237,334	電気、ガス、水道(本部、司教館、地区長館など)
支払報酬手数料	1,000,000	1,060,977	税理士報酬、振込手数料、小切手手数料
租税公課	50,000	105,800	自動車税、法人膳本など
会議費	2,500,000	915,956	各種司祭会議の交通費、教区シノドスなど
図書印刷費	200,000	143,388	新聞代、新日本法規、封筒・領収証印刷
賃借料	1,200,000	1,010,147	印刷機、コピー機、電話機、LED
自動車諸費	150,000	0	ガソリン代、高速料金、車検代
④宗教活動費	¥6,500,000	¥3,883,951	
祭儀費	100,000	9,397	毎日のミサ 他
教育養成費	1,000,000	639,891	青少年信仰養成(巡礼・聖書学校)及び活動援助
教区司祭研修費	2,500,000	1,544,816	三教区合同黙想会、司祭大会
行事費	2,000,000	1,625,047	ザビエル祭、レオ殉教祭、シドッチ祭、叙階式
宣教広報費	500,000	64,800	JR鹿児島中央駅(カテドラル)
その他	400,000	0	布教強化費(100,000円)、宣教司牧活動費
⑤補助金支出	¥3,500,000	¥3,498,000	
			溝辺、指宿、種子島、垂水、屋久島、阿久根
⑥負担金	¥4,000,000	¥1,320,000	
			教区分担金88万円、Can献金17万円、他
⑦諸会費	¥60,000	¥188,100	
			教誨師会、唐湊町内会、全国典礼担当者会
⑧災害見舞金	¥100,000	¥0	
⑨法定献金支出	¥4,000,000	¥3,544,791	
⑩事業支出	¥100,000	¥85,536	
			ミサワイン仕入、結婚証明
⑪広報部支出	¥1,600,000	¥1,708,717	
			会報印刷代、発送代など
⑫その他支出	¥220,000	¥0	
			慶弔費、他
⑬予備費	¥500,000	¥0	
⑭資金支出調整勘定	¥0	¥-273,843	
			期末未払金
経常支出合計	¥81,510,000	¥65,733,897	
財務支出・科目	2019年度予算額	2019年度決算額	備 考
①固定資産取得支出	100,000	¥2,398,050	
建物付属・器具備品	100,000	2,398,050	司教館シロアリ駆除 エアコン プロジェクター
②特定預金積立支出	¥10,950,000	¥7,343,987	
カリタス基金	1,000,000	935,208	
教区司祭年金積立	6,000,000	6,204,779	
教区司祭医療積立	150,000	144,000	
その他	3,500,000	0	建物減価償却、退職金
パイプオルガン	300,000	60,000	
③その他支出	¥8,510,000	¥12,506,097	
貸付・立替金	10,000	3,500,000	川内教会屋根雨漏対策工事
仮払金	500,000	166,000	教区司祭研修
預金支出	8,000,000	8,840,097	預り金収入に対応
④繰入金支出	¥0	¥8,084,600	
			名瀬聖心教会
財務支出合計	¥19,560,000	¥30,332,734	
支出合計	¥101,070,000	¥96,066,631	
次年度繰越金	¥59,577,259	¥66,046,081	
合 計	¥160,647,259	¥162,112,712	

神学生養成費収支計算書 2019年4月1日～2020年3月31日

収入・科目	2019年度予算額	2019年度決算額	備 考
①神学生養成費	¥13,000,000	¥10,748,100	
②前期末未収入金	¥0	¥662,800	
③期末未収入金	¥0	¥-126,000	
④寄付金	¥1,000,000	¥1,000,000	
⑤前年度繰越金	¥7,946,144	¥7,946,144	
収入合計	¥21,946,144	¥1,619,960	
支出・科目	2019年度予算額	2019年度決算額	備 考
①神学校運営分担金	¥9,100,000	¥7,627,800	
福岡大神学院	6,000,000	6,890,000	運営分担金 諏訪助祭・田代神学生授業料
聖カルロス大神	2,100,000	128,400	久山神学生授業料
福岡コレジオ	1,000,000	609,400	運営・基本分担金
②旅費研修費	¥500,000	¥289,202	諏訪助祭、田代神学生帰省費用
③生活補助費	¥1,300,000	¥650,510	2万円×3人×12ヶ月
⑤雑 費	¥60,000	¥33,029	外貨送金・振込手数料
⑥修道会援助金	¥1,500,000	¥1,100,000	レデンプトール会、コンベンツアル会
⑦学 費	¥1,500,000	¥61,494	神学生の教科書代
⑧その他	¥100,000	¥0	担当司祭活動、召命体験
⑨次年度繰越金	¥7,886,144	¥10,469,009	
支出合計	¥21,946,144	¥20,231,044	

11月8日(日)午後、カトリック唐湊墓地で死者のためのミサがさげられた。この日、中野司教とミサを共同司式したのは小隈、末吉、泉、アントニオ、ビアンネ、霧島の6人の司祭。ミサがさげられた司祭墓地前広場には、約60人の信者が集い、今は亡き、親、兄弟姉妹、恩人たちの永遠の安息を祈った。

霧島彬神父による福音朗読後に説教した中野司教は、アウグスチヌスがその著書「告白」の中で記憶の大切さについて触れていることを紹介し、今年の5月に帰天した母親のこと、先輩司祭たちの働きに感謝した。その上で中野司教は「道であり、真理であり、いのち



である信仰を先達から受け継いだように私たちも子どもや周囲の人々に伝えていこう」とメッセージを送った。

ミサの終わりには、墓地に眠っている恩人たちの永遠の安息と洗礼の思いを心に刻むために聖水を撒ぎ、献香した。

なお奄美大島では11月1日（日）、名瀬納骨堂前広場（奄美市名瀬永田町）で死者のためのミサがささげられた。

教区会計収支計算書 2019年4月1日～2020年3月31日

経常収入科目	2019年度予算額	2019年度決算額	備 考
①献金収入	¥27,900,000	¥24,851,145	
教区費	20,000,000	15,672,536	教区司祭地区30%、修道会司祭地区20%
ミサ献金	6,500,000	6,934,198	教区司祭地区30%、修道会司祭地区20%
カリタス鹿児島	1,400,000	976,911	
教区財政支援	0	1,267,500	
②補助金収入	¥5,484,000	¥7,117,379	
聖座補助金	0	1,920,600	
教区司祭医療積立	84,000	72,000	
教区司祭年金	5,400,000	5,124,779	
③寄付金	¥14,000,000	¥13,199,053	
司祭寄付金	12,000,000	11,259,953	郡山司教、泉神父、山口神父、末吉神父
一般寄付金	1,000,000	1,721,100	
特別寄付金	1,000,000	218,000	
④祭儀収入	¥4,000,000	¥2,736,162	冠婚葬祭、祝福
⑤法定献金	¥4,400,000	¥4,328,952	
⑥広報部収入	¥1,900,000	¥1,619,960	会報分担金、寄付金など
⑦その他	¥2,279,300	¥4,486,753	前期末未収入金、受取利息、雑収入など
経常収入合計	¥59,963,300	¥58,339,404	
財務収入科目	2019年度予算額	2019年度決算額	備 考
①固定資産売却収入	0	¥8,400,000	
不動産売却	0	8,400,000	
②特定預金取崩収入	¥9,815,154	¥2,112,500	
教区司祭年金取崩	2,500,000	2,112,500	田原神父、成相神父
その他	7,315,154	0	
③その他収入	¥10,100,000	¥12,492,003	
預り金受入	8,500,000	8,326,003	社会保険、雇用保険、所得税、住民税、他
貸付金回収	1,000,000	4,000,000	名瀬聖心教会聖堂
仮払金・立替金	600,000	166,000	仮払金清算による戻り（仮払金支出に対応）
財務収入合計	¥19,915,154	¥23,004,503	
収入合計	¥79,878,454	¥81,343,907	
前年度繰越金	¥80,768,805	¥80,768,805	
合 計	¥160,647,259	¥162,112,712	

広報部会計収支計算書 2019年4月1日～2020年3月31日

収入・科目	2019年度予算額	2019年度決算額	備 考
①会報分担金	¥1,900,000	¥1,518,060	教会（1部=60円）、個人=年間1,100円
②前年度会報分担金	¥0	¥81,900	
③寄付金	¥0	¥20,000	
収入合計	¥1,900,000	¥1,619,960	
科支・出目	2019年度予算額	2019年度決算額	備 考
①新聞・図書費	¥70,000	¥18,150	カトリック新聞 他
②取材・交通費	¥100,000	¥67,110	航空券、宿泊代
③印刷費	¥450,000	¥358,446	教区報印刷代
④発送費	¥200,000	¥360,623	教区報発送（ゆうメール、ゆうパック）
⑤消耗品費	¥100,000	¥36,121	発送用封筒
⑥自動車諸費	¥100,000	¥51,061	ガソリン代、車両任意保険
⑦IT関連事業	¥400,000	¥654,000	ホームページ保守運営
⑧支払報酬手数料	¥50,000	¥163,206	振り込み手数料 新聞作製ソフト使用料など
⑨その他	¥130,000	¥0	広報担当研修会費、撮影費
支出合計	¥1,600,000	¥1,708,717	

●人権についての理解を深める「出前研修」

今年4月、鹿児島教区は「性虐待防止基本宣言」を行い「性的虐待防止及び被害者支援に関する規程」を定めました。この「宣言」の中では、これまで以上に人権についての理解を深め、子どもへの虐待や家庭内暴力等の問題に取り組み「予防教育」を推進することがうたわれています。

そこで「鹿児島司教区子どもと女性人権相談室」は、家庭内暴力やトラウマ（精神的外傷）について専門的・実践的な養成研修を受けた2人が、各小教区に「出前研修」のため出向くことにしました。

研修は、来年2月から原則毎月第1日曜日、主日のミサの後に30分程度実施することとし、第一回は紫原教会での開催を決めました。担当者は澤ヤエ子シスター（レデンプトル宣教修道女会）と山口寛子さん（ザビエル教会・鹿児島きぼうの電話事務局）。よい学びの機会としてください。（末吉卓也神父）

2019年12月31日現在

2019年 鹿児島教区教勢

教会名	信徒数		死 亡	信徒の 移 動		主日ミサ 参列者	洗 礼		堅 信	求 道 者	教会学校 (幼・小学生)		教会学校 (中学生)		教会学校 (高校生以上)	
	総 数 （内男性）	不 明		転 入	転 出		幼 児	成 人			信 徒	総 数	信 徒	総 数	信 徒	総 数
阿久根	39 (12)	0	0	0	7	35	1	1	0	4	0	0	0	0	0	0
出 水	164 (61)	0	3	2	0	40	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
入 来	85 (27)	0	3	2	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大 口	139 (46)	0	1	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
川 内	279 (92)	9	2	1	22	60	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
鹿 屋	262 (101)	0	4	3	0	60	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
国 分	176 (72)	4	0	0	2	20	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0
志布志	98 (35)	0	1	1	1	30	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
垂 水	2 (1)	21	1	0	30	5	0	1	0	0	0	90	0	0	0	0
始 良	217 (96)	7	3	9	0	65	0	0	0	2	3	3	4	4	4	4
指 宿	97 (30)	9	1	2	1	20	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0
加世田	117 (57)	1	4	1	0	55	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
鴨 池	496 (200)	48	7	4	8	100	1	1	0	1	4	10	0	0	0	0
ザビエル	1013 (330)	180	10	3	12	250	2	8	9	8	24	24	5	5	6	6
谷 山	802 (321)	32	6	9	4	135	1	2	2	3	12	12	1	1	1	1
玉 里	238 (97)	14	2	0	0	60	0	0	0	0	2	4	4	4	1	1
紫 原	254 (93)	105	1	0	0	35	0	0	0	0	2	13	0	0	0	0
吉 野	278 (121)	54	3	4	0	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
種子島	69 (28)	14	0	0	0	29	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0
溝 辺	30 (16)	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大笠利	522 (215)	54	8	5	1	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 宿	307 (113)	0	5	0	0	30	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
古仁屋	109 (27)	0	2	0	0	20	0	0	0	0	5	5	6	6	0	0
瀬 留	354 (143)	0	8	0	3	70	0	4	3	0	0	0	0	0	0	0
大 熊	576 (259)	8	5	0	0	200	7	1	1	0	15	15	3	3	0	0
古田町	732 (255)	45	6	0	2	120	1	1	0	0	1	7	5	5	0	0
聖 心	753 (287)	38	17	2	2	200	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
徳之島	400 (135)	0	15	0	0	50	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
和 泊	176 (44)	3	0	2	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8784 (3314)	646	118	50	97	1892	15	27	21	24	72	189	28	28	12	12
							42				189		28		12	

神の救済史と処女懐胎



毎年、御降誕を迎えるにあたりマリア様の処女懐胎の事実性が気になる方もおられるのではないでしょう。確かに、現実問題としては理解できないかもしれませんが、神の救いという観点と旧約聖書からこの信じられない出来事を考えてみましょう。

旧約聖書には高齡の女性や不妊の女と言われている女性が神様の憐れみと恵みによって男の子を身籠る話がいくつか見られます。具体的には90歳のサラがイサクを生む話（創世記17・

15・19、21・1・2参照）、不妊のラケルがヨセフを生む話（創世記30・22・24参照）、マノアの不妊の妻がサムソンを生む話（士師記13・2・24参照）、不妊のハ

洗礼者ヨハネを生む話があるのです。ということはマリア様がエリザベトを訪問したという話は旧約と新約の繋ぎ目であり、時代の変遷を意味しているとも言え

ます。処女懐胎は高齡や不妊の女が身籠るよりも遙かに驚くべきことです。そこに神様の具体的な啓示を見る

ことができます。つまり、処女懐胎とは旧約聖書のメシア預言の成就として、①神の救いの御業の根源的な新たな始まり。②罪にまみれた人類の歴史の終焉。③神の独り子により救われる歴史の始まり。といったことを意味するのです。であれば、イエス様がお生まれになったということはイエス様ご自身が語られるように神様の意志であり、この世間的な出来事とは一線を画するもののなのです（ヨハネ5・30、6・38参照）。

マリア様の処女懐胎とイエス様の御降誕とは人類の歴史が神の救済史であることの現れです。神様の救いとは人間の力によって得られるものではなく、神様からのまったくの恵みです。実にイエス様の御言葉も御業もこのことを具体的に表わしていると言えます。こうしたことからイエス様は神様の自己啓示の充満であると言われるのです。御降誕をお祝いするこの時期に、神様の救いの御業がマリア様とイエス様を通じて新たに現れたことに思いを馳せたいものです。

会と催し 12月

- 1日（火）コンベンツス及び司教霊名ミサ・カテドラルと教区本部・10時
- 2日（水）中野アカデミー（講師・霧島怜さん）・教区本部・19時
- 3日（木）日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル司祭中野裕明司教、丸野六雄神父霊名（聖フランシスコ・ザビエル）
- 6日（日）小川靖忠神父叙階記念（1972年）待降節第2主日
- 7日（月）貴島丈弥神父叙階記念（2015年）宣教地召命促進の日（献金）
- 8日（火）ヴィデンマン神父命日（2006年）防疫対応研修会・ザビエル教会・13時30分
- 10日（木）無原罪の聖マリア糸永真一司教命日（2016年）待降節第3主日
- 13日（日）徳之島選任式
- 14日（月）レデンプトル会例会
- 15日（火）木陰実神父命日（2019年）有馬信茂神父命日（2007年）
- 19日（土）正義と平和協議会・教区本部・13時青年会・教区本部・18時30分
- 20日（日）池上聖行終身助祭叙階記念（2010年）待降節第4主日
- 23日（水）レジオマリエ鹿児島コミチウム・谷山教会・14時玉里教会堅信式
- 25日（金）中野アカデミー・教区本部・19時
- 26日（土）松永正男神父叙階記念（1969年）主の降誕
- 27日（日）聖ステファノ殉教者
- 28日（月）オリーブの会及び共にこの道・教区本部・14時
- 29日（火）寝占教之神父、山口好信神父、末吉卓也神父、川口茂終身助祭霊名（使徒ヨハネ）霧島彬神父叙階記念（2018年）
- 【司教日程】1日コンベンツス及びミサ、9・10日臨時司教総会（東京）、12・13日選任式（徳之島）、15・16日福岡カトリック神学院、20日玉里教会堅信式、23日中野アカデミー、24日クリスマス夜半ミサ（カテドラル）
- 祈りの意向
- 【祈祷の使徒会】福音宣教 祈りの生活 日本の教会 いのちへのまなざし
- 「降誕祭ミサについて」ザビエル教会 クリスマスの12月24日夜半のミサ及び25日日中のミサには、他の小教区からの参列はできません。24日の司教ミサはインターネットを利用してご参列ください。

鹿児島教区の皆様へ

旧ザビエル聖堂の今後について

土田 充義

司教様はじめ皆さまお元
気で一日一日を大切に歩ん
でおられることと存じま
す。旧ザビエル聖堂再生に
当たっては解体から再建ま
での長い道のりを共に歩み
ました。いつも感謝してい
ます。

宗像ザビエル聖堂につい
て宗教法人カトリック福岡
司教区代表役員アベイヤ
司教様から直接返事を頂き
ました。最後の1行を記し
ます。

「決議 これまでの結論
と同じく、教区として受け
入れることはしない。」
（10月9日付）

とありました。
これまでの結論と同じく
とありますのは、福岡教区
から御受難修道会にすでに
伝えられていたことを意味
します。

私は8月21日（金）に直
接ヨゼフ・アベイヤ司教に
引き受けられない理由を聞
きに出かけました。すると

司教様は「私が福岡司教に
なる前に顧問会ですでに決
まっていた。それなら早く
返事した方がいい」との判
断で6月下旬にしたそう
です。理由は松永司教様（宮
原司教様の前の司教）の判
断を顧問会の神父様が尊重
されたとのことでした。

「司教様に汗水流して皆
んなで建てた」ことを申し
上げましたら、「文章化し
て出して下さい。顧問会
で再度諮ります」とのこと
で、8月27日に持参しまし
たが、その結果が先に記し
た通りです。

御受難修道会では12月末
に福岡黙想の家の営業を終
了します。しかし宗像修道
院は残ります。方針として
宗像修道院から同会本部へ
聖堂の管轄が移ります。

聖堂は美しい姿で広々と
した森に立っています。将
来、きつと宗像で福音宣教
の役割を担うことでしょ
う。聖堂にはご聖体が安置

され、「宗像福音の会」の
方々約20人が二足のわらじ
（一足は自分たちの小教
区）を履いてミサに参加し
守っています。

聖堂は旧鹿児島カテド
ラル・ザビエル記念聖堂で
す。みんなで大切にしてい
きましょう。またお便りし
ます。（11月6日 記）

ザビエル聖堂再生に貢献された方々の

追悼ミサ

日時：12月3日（木）11時から
場所：福岡黙想の家ザビエル聖堂
司式：ベリオン・ルイ神父
問合せ：090-3882-1251 土田

受話器の向いから③

傾聴の大切さ

内田京子

電話相談室の
前の壁に「喜ぶ
者といっしょに
喜び、泣く者と
いっしょに泣き
なさい」との聖
書の言葉が掛か
っています。そ
れを見ながら今
日も相談者の電
話にしっかりと耳
を傾け、お話を
聴けますように
と祈りながら電
話に向かいま
す。

20年前、カウンセ
リング
養成講座を受講し、先生方
に「人に寄り添い共感する
ことがいかに大切か」を教
えていただき、目が覚める
ような思いでした。それま
で日常生活の中でなんと
い加減に人の話を聞いてい
たかに気づき、「よりよく
生きる上で大切に貴重なお
話を、子育て時代に聞いて
いたら、もっとよい母親に
なれただろう」と悔やむば
かりでした。

深く聴き共感し寄り添うこ
とで、はじめは激しい口調
や涙声だった方が、徐々に
穏やかになったり、笑い声
を立てたり、また自分で問
題解決の糸口を見つけてい
かれる様子を幾度となく経
験し、傾聴・共感・寄り添
うことがいかに人の心を和
ませるかを感じています。

長い年月の間には家族や
親しき友との別れ、体調不
良などあり「自分が健全で
ないとしつかり受け止めら
れない」と休んだことも
あります。

度々で相談員としてはゆっ
くり少しずつの歩みです。
「苦しむ方の支えに」と
の思いで始めた相談員で
すが、傾聴・理解しようとし
る習慣を身につけるよう心
がけたことは私の生き方に
多くの幸いをもたらしてく
れました。素晴らしい講座
と電話をくださった方々すべ
てに感謝しています。

これからも一つひとつの
電話を大切に、相談者に寄
り添っていききたいと思っ
ています。

信者の本棚

新型コロナウイルス蔓延
によって、私たちは「人間の
無力さ」を思い知らされてい
ます。毎日のように多くの方
が感染し、そして発病、多く
の方が重症化し、またある人
たちは命を落としています。
そんな中で学者たちがワ
クチンや特効薬を完成させる
ために日夜、努力を続け、医



教皇フランシスコの 「パンデミック後の選択」

カトリック中央協議会

罹患についてはあまり情報を
持っていない、自分以外の国
ことにはあまり興味がないと
いうのも認めざるをえませ
ん。

今、手もとにカトリック
中央協議会から出された「パ
ンデミック後の選択」

マイケル・ツァーニー枢機卿
はこの文書から「この人類の
危機から生まれうる、より良
い世界を築くための方向性、
手掛かり、指針の提言」「こ
れほどの過酷な苦しみと困惑
のただ中であってすら、希望

対して無関心であってはいけ
ない、一つの家族として向き
合うべき時が来ておりエゴイ
ズムの時ではない、分裂して
いる時ではない、自分たちが
直面している危機を理由に他
の緊急事態（世界中で起こっ
ている人道危機や紛争、干ば
つ、難民）を忘れる時ではな
いと「無関心、利己主義、分
裂、忘却どれも今は聞きたく
ない」と訴えます。

コロナウイルスより悪質
な「エゴイズム」というウイ
ルスに侵されないよう、神と
共にいるという新しい生き方
を選択しようと訴えます。一
読ください。

定価（本体500円＋税）

教会と社会をつなぐ耳 鹿児島きぼうの電話

TEL099-223-3399

月曜日～金曜日
（9時～16時/20～23時）